

中学 2 年 国語科 教材別テスト⑦ 「盆土産」

教材別リメイク版 中学 2 年 国語 / 「盆土産」(三浦哲郎) 光村図書『国語 2』 / 漢字・語句・助動詞

2 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 4)までです。全 6 ページです。
- 大問四は、教科書『国語 2』(光村図書)の「盆土産」を開いて解答しなさい。
- この問題用紙には本文を載せていません。教科書の本文を読みながら答えなさい。
- 解答は、解答用紙(P. 5～P. 6)の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50 点)

一 次の——線部について、①～⑩は漢字の読みをひらがなに直し、⑪～⑳ はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、⑩・⑭・⑮・⑰・⑱は送りがなも必要なので、必ず書くこと。

1 点×20=20 点

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 盆に <u>墓参り</u> をする。 | ② <u>仏壇</u> に手を合わせる。 |
| ③ <u>線香</u> のけむり。 | ④ <u>提灯</u> をさげて歩く。 |
| ⑤ 冬場の <u>出稼ぎ</u> 。 | ⑥ 夏休みに <u>帰省</u> する。 |
| ⑦ <u>溪流</u> で魚をとる。 | ⑧ <u>唐突</u> に話し出す。 |
| ⑨ <u>遠慮</u> がちにうなずく。 | ⑩ <u>懐かしい</u> 声を聞く。 |
| ⑪ 父の <u>こうぶつ</u> の料理。 | ⑫ 機械に <u>あぶら</u> をさす。 |
| ⑬ 池に <u>こおり</u> がはる。 | ⑭ 上着を <u>ぬぐ</u> 。 |
| ⑮ <u>だまって</u> うなずく。 | ⑯ <u>なみだ</u> がこぼれる。 |
| ⑰ 駅で客を <u>むかえる</u> 。 | ⑱ 父を駅まで <u>みおく</u> る。 |
| ⑲ <u>そせん</u> をうやまう。 | ⑳ <u>えがお</u> を見せる。 |

二 次の問いに答えなさい。

2点×7=14点

(1) 「唐突」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 長い間、待ちつづけること。 イ 前おきもなく、いきなりであること。
ウ 遠くはなれていること。 エ まわりに気をつかうこと。

(2) 「気が気でない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア まったく関心がないこと。 イ 心配や期待のあまり、じっとしていられないこと。
ウ 気が強くて、ゆずらないこと。 エ 意識がはっきりしないこと。

(3) 「目を細める」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア うれしそうに、にこやかな表情になること。 イ 目が悪くなって見えにくくなること。
ウ きびしくにらみつけること。 エ ねむたくなること。

(4) 「ほおばる」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 少しずつ、味わって食べること。 イ 食べ物を口いっぱいに入れること。
ウ 食べ残してしまうこと。 エ 人にすすめて食べさせること。

(5) 「期待」の対義語を、漢字二字で書きなさい。

(6) 「故郷」とほぼ同じ意味を表す類義語を、漢字二字で書きなさい。

(7) 「土産」のように、漢字二字で特別な読み方（熟字訓）をする熟語を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 田舎 イ 旅行 ウ 荷物 エ 包装

三 次の——線部の助動詞の意味・用法を、後の【語群】から一つずつ選び、言葉で答えなさい。

2点×8=16点

(1) 帰りがおそいので、姉に笑われる。

(2) 明日は、朝早く起きられる。

(3) 古いアルバムを見ると、昔のことが思い出される。

(4) 先生が教室に入られる。

(5) 父は、今夜おそく帰るそうだ。

(6) 今にも雨が降りそうだ。

(7) えびのしっぽは、小さな羽のようだ。

(8) 弟に荷物を持たせる。

【語群】 受け身 ・ 可能 ・ 自発 ・ 尊敬 ・ 推定 ・ 比喩（たとえ） ・ 様態 ・ 伝聞 ・ 過去 ・ 完了 ・ 存続 ・ 打ち消し ・ 意志 ・ 推量 ・ 勧誘 ・ 使

※ 語群の言葉は、一度しか使わないものも、まったく使わないものもあります。

四 教科書『国語2』(光村図書)の「盆土産」を開いて、後の問いに答えなさい。

50点

(1) この作品が、小学生である「少年」の目と心を通して語られていることには、どのような効果があるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 大人になった語り手が、当時の社会のしくみを冷静に分析して説明できる。
- イ 家族の様子や出来事が、少年の素直な驚きや喜びとともに、生き生きと伝わってくる。
- ウ 語り手が物語の外から、登場人物すべての心の中をくわしく説明できる。
- エ 父の立場から語られるため、出稼ぎの苦労が作品の中心になる。

(2) 少年の家族の状況として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 両親と姉との四人で、村で暮らしている。
- イ 父母はそろっているが、少年だけが祖母にあずけられている。
- ウ 祖母と姉との三人で暮らしていて、父は東京で働いている。
- エ 家族全員が都会へ移り住み、盆だけ村へ帰ってくる。

(3) 盆に帰ってくる父を待つ場面で、少年はどのような気持ちでいるか。「～気持ち。」の形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 5点

(4) 父が土産に持ち帰った「えびフライ」は、どのようなものとして描かれているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 都会から持ち帰られた、当時の村ではめずらしく、ごちそうだった食べ物。
- イ 村の店でいつでも買える、ありふれた食べ物。
- ウ 少年がきらいで、どうしても食べたくなかった食べ物。
- エ 祖母が得意で、家でよく作っていた料理。

(5) 家族が「えびフライ」という言葉をうまく言えず、言いかえたりくり返したりする場面には、どのような効果があるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 物語の進み方をおそくして、緊張感を高める効果。
- イ 登場人物の知識のなさを笑い物にする効果。
- ウ 父が村の暮らしを見下していることを示す効果。
- エ 聞きなれない食べ物にとまどう家族の様子を通して、笑いを誘うと同時に、ささやかな暮らしぶりを感じさせる効果。

(6) えびフライを前にした祖母が「歯がねえのに」ともらす場面からは、どのようなことが感じられるか。「～こと。」の形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 5点

四

(つづき)

(7) えびフライを仏壇に供えたのはなぜだと考えられるか。「～ため。」の形で、二十五字以上三十字以内で書きなさい。 5点

(8) 父が帰っていく別れの場面で、少年が思わず「えびフライ。」と口にしてしまったのはなぜか。そのときの少年の気持ちを、三十字以上四十字以内で書きなさい。 7点

(9) この作品で、東北地方の方言が多く用いられていることの効果として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 登場人物が学校に通っていないことを示している。
- イ その土地の暮らしぶりや家族のあたたかさが、実感をもって伝わってくる。
- ウ 読みにくくすることで、読者に時間をかけて読ませようとしている。
- エ 作品の舞台が遠い外国であることを示している。

(10) 題名「盆土産」が象徴しているものとして、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 都会の豊かさに対する、村の暮らしのまずしさ。
- イ 父が都会で成功し、豊かになったことの証。
- ウ 離れて暮らす父と家族とを結ぶ、ささやかで確かなつながりの証。
- エ 盆という行事の古い習わしを守ろうとする気持ち。

(11) 次のア～オの文のうち、慣用句が正しい意味で使われているものを全て選び、記号で答えなさい。【完答】 4点

- ア 合格の知らせを聞いて、肩の荷が下りた。
- イ 発表会を前に、足が棒になって何も話せなかった。
- ウ 兄の見事な演奏に、わたしは舌を巻いた。
- エ かぜで寝込んだ友人の話に、取りつく島もなかった。
- オ 母は忙しくて、猫の手も借りたいほどだった。

(12) この作品では、家族の愛情がどのように描かれているか。四十字以上五十字以内で書きなさい。 6点

解答用紙① 知識・技能

教材別リメイク版 中学２年 国語 / 教材別テスト⑦「盆土産」（三浦哲郎）

２年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (１点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一 (つづき)	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二 語句の知識 (２点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三 助動詞の 意味・用法 (２点×8)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※ 大問三は、【語群】の言葉をそのまま書き写して答えなさい（記号ではありません）。

解答用紙② 思考・判断・表現

教材別リメイク版 中学2年 国語 / 教材別テスト⑦「盆土産」（三浦哲郎）

2年	組	番	氏名	
----	---	---	----	--

思考・判断・表現
小計

合計（100点満点）

四 「盆土産」 の読解 (50点)	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)		(5)	
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)		(10)	
	(11)			
	(12)			

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。(3)(6)(7)は25～35字、(8)は30～40字、(12)は40～50字です。(3)は「～気持ち。」、(6)は「～こと。」、(7)は「～ため。」の形で結びます。(11)は完答です。

